

2021 年度 授業計画(シラバス)

学 科	柔道整復師学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	固定法Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	前期	教室名	第2校舎3階実技室
担 当 教 員	尾崎 卓宏 福士 暁也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
柔道整復師としてスポーツ現場にて使えるテーピング法及びスポーツ手技						
《成績評価の方法と基準》						
半期により実技試験をおこなう						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
授業参考となるプリントを随時配布する 解剖学 改訂第2版						
《授業外における学習方法》						
学んだ部位に対して、解剖学で確認すること						
《履修に当たっての留意点》						
実技を通じて、筋肉の走行等により興味を持ってほしい						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	実習形式	授業を通じての到達目標	テーピング概要	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する	
		各コマにおける授業予定	テーピングの基礎を学ぶ			
第2回	実習形式	授業を通じての到達目標	指:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する	
		各コマにおける授業予定	指に起こりえる外傷とテーピング実技			
第3回	実習形式	授業を通じての到達目標	手首:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する	
		各コマにおける授業予定	手首に起こりえる外傷とテーピング実技			
第4回	実習形式	授業を通じての到達目標	肘:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する	
		各コマにおける授業予定	肘に起こりえる外傷とテーピング実技			
第5回	実習形式	授業を通じての到達目標	肩::テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する	
		各コマにおける授業予定	肩に起こりえる外傷とテーピング実技			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰:テーピング実技 I	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	腰に起こりえる症状とテーピング実技		
第7回	実習形式	授業を通じての到達目標	腰:テーピング実技 II	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	腰へのテーピング復習と治療法		
第8回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿:テーピング実技1	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	大腿で起こりえる症状とテーピング実技		
第9回	実習形式	授業を通じての到達目標	大腿:テーピング実技1テーピング実技2	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	大腿へのテーピング復習と治療法		
第10回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝:テーピング実技1	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	膝で起こりえる症状とテーピング		
第11回	実習形式	授業を通じての到達目標	膝:テーピング実技2	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	膝へのテーピングの復習と治療法		
第12回	実習形式	授業を通じての到達目標	前脛骨筋:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	前脛骨筋の症状とテーピング		
第13回	実習形式	授業を通じての到達目標	下腿筋:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	下腿筋に起こりえる症状とテーピング		
第14回	実習形式	授業を通じての到達目標	アキレス筋・足:テーピング実技	配布プリント	解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	アキレス腱や足に起こる症状		
第15回	実習形式	授業を通じての到達目標	本講義内容について、指摘された部位のテーピングを巻くことができる		解剖学 改訂第2版にて各部の筋肉を確認する
		各コマにおける授業予定	まとめ 全実技を習得していること		